

# 平成27年2級建築施工管理 実地試験(学科記述問題)

No2 次の建築工事に関する用語のうちから5つ選び、その用語の説明と施工上留意すべき内容を具体的に記述しなさい。  
ただし、仮設以外の用語については、作業上の安全に関する記述は不可とする。  
また、使用資機材に不良品はないものとする。

足場の壁つなぎ	帯筋
親綱	型枠のフォームタイ
グリッパー工法	軽量鉄骨壁下地のスペーサー
コンクリートの回し打ち	土工事のつぼ掘り
塗膜防水絶縁工法の通気緩衝シート	木工事の大引
木造住宅の気密シート	床コンクリートの直均し仕上げ
ユニットタイル	溶接作業の予熱

## 1. 足場の壁つなぎ

答え---

説明: 外足場の建地に風等の外力により倒壊しないように固定する控え

留意点: 壁面に対し可能な限り直角に設ける

枠組足場の場合は垂直方向9m以下、水平方向8m以下に設ける。

単管足場の場合は垂直方向5m以下、水平方向5.5m以下に設ける。

## 2. 帯筋

答え---

説明: 鉄筋コンクリート造の柱に、主筋に対して直交するように設けた、せん断補強筋

留意点: 端部のフックの位置は上下の帯筋と同位置にならないように配慮する

端部は135度以上のフックを設け、余長は6d以上確保する。

## 3. 親綱

答え---

説明: 墜落、高所の作業時に安全帯のフックを掛けるために張る仮設のロープのこと

留意点: 衝撃荷重に対しても安全なように、支柱又は堅固な構造物に固定する

作業に支障なく、又、たるみがないように固定する。

この過去問は受講者専用のページです。  
お申し込みされますと全ての過去問がご覧頂けます。  
お早目のお申し込みお待ちしております。

受講お申込みはこちらから



<https://www.sekou-net.jp/entry/>